

平成20年度川崎市高速鉄道事業会計決算概況

(総括事項)

川崎縦貫高速鉄道線は、平成17年3月に、路線を一部変更して武蔵小杉駅に接続する計画で地下鉄事業を推進するとの市の方針を決定し、元住吉接続での鉄道事業は平成18年4月1日をもって廃止しました。

現在は、駅周辺再開発が着実に進展するとともに、JR横須賀線の新駅が開設されることにより拠点性が大きく向上する武蔵小杉駅に接続する計画で、できるだけ早期に補助採択、鉄道事業許可の取得ができるように、引き続き取組を進めています。

(業務状況)

川崎縦貫高速鉄道線整備事業については、これまでの調査結果を踏まえつつ、事業の効率化に向けた建設計画の深度化を図るとともに、引き続き需要予測等を実施しました。

更に、これらの結果等を踏まえて、国や関連する鉄道事業者等との協議を実施しました。

(経理状況)

本年度の決算につきましては、資本的収入は5億9,169万9,562円となり、資本的支出は5億8,878万9,887円となりました。



総括表

(1) 予算執行状況(税込み)

ア 収入

(単位：円、%)

科目	予算額	決算額	増減	執行率
1 収益的収入	-	-	-	-
2 資本的収入	649,320,000	591,699,562	57,620,438	91.1
合計	649,320,000	591,699,562	57,620,438	91.1

イ 支出

科目	予算額	決算額	増減	執行率
1 収益的支出	-	-	-	-
2 資本的支出	645,193,000	588,789,887	56,403,113	91.3
合計	645,193,000	588,789,887	56,403,113	91.3

(2) 総合収支

	収入	支出	収支差引
資本的収支	591,699,562	588,789,887	2,909,675

(3) 経営成績

該当事項なし

平成21年第3回川崎市議会定例会において、
平成20年度決算が認定されました。

本年度の決算につきましては、資本的収入が企業債（借換債）や一般会計からの出資金などで5億9,169万9,562円となりました。一方、資本的支出は、調査設計費、建設諸費（人件費・経費）などの建設改良費が2億2,120万2,039円、企業債償還金が3億6,758万7,848円となり、支出合計では5億8,878万9,887円となりました。

決算報告書

(単位：円)

		予算額	決算額	増減
資本的 収入 支出	企業債	294,000,000	294,000,000	0
	出資金	350,266,000	293,926,111	56,339,889
	その他の資本的収入	5,054,000	3,773,451	1,280,549
	計(a)	649,320,000	591,699,562	57,620,438
	建設改良費	277,605,000	221,202,039	56,402,961
	企業債償還金	367,588,000	367,587,848	152
	計(b)	645,193,000	588,789,887	56,403,113
	差引 (a) - (b) = A	4,127,000	2,909,675	1,217,325

貸借対照表 (平成21年3月31日)

(単位：円)

資産の部		負債の部	
資産	3,787,186,948	負債	12,375,728
固定資産	3,734,521,413	流動負債	12,375,728
建設仮勘定	3,734,521,413	未払金	10,804,900
流動資産	52,665,535	未払費用	816,303
現金預金	49,681,345	その他流動負債	754,525
未収金	2,984,190		
		資本の部	
		資本	3,774,811,220
		資本金	3,199,153,284
		自己資本金	1,535,119,502
		借入資本金	1,664,033,782
		企業債	1,664,033,782
		剰余金	575,657,936
		資本剰余金	575,657,936
		国庫補助金	251,420,719
		一般会計補助金	324,237,217
資産の部合計	3,787,186,948	負債・資本の部合計	3,787,186,948

借入資本金：建設改良等の目的のために発行した企業債で、公営企業会計では借入資本金として経理される。
なお、川崎縦貫高速鉄道線は開業前のため、経営成績を示す損益計算書はありません。